

日赤通り

NISSEKI VOICE 広報誌

〒960-8530 福島市八島町7番7号 TEL(024)534-6101(代表)

Vol.53

発行：福島赤十字病院 R3.2.1



新型コロナウイルス

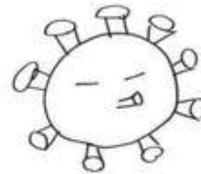
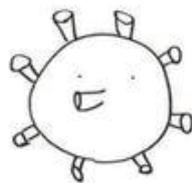
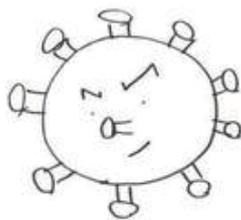
正しい知識で正しい対応を



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

新型コロナウイルスの 3つの顔を知ろう！

～負のスパイラルを断ち切るために～



新型の
コロナです



それぞれのQRコードから
ぜひ内容をご覧ください。

基本理念 「わたしたちは、
いのちと健康、尊厳を守るため、
より良い医療を目指します」

基本方針 「患者さま中心の医療」
「良質な医療の提供」
「地域医療機関との連携」
「救急医療の充実」
「災害時の救護活動」
「原子力災害対応機能の充実」
「健全な経営の維持」

2021年 年頭のご挨拶

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

今年は東日本大震災、福島原発事故から10年目の節目となる年です。福島県では、原子力災害の傷跡は消えることなく震災からの復興も道半ばといったところです。そして、2020年初頭から世界を席巻している新型コロナウイルスの猛威は、年が明けても収まる兆しがありません。



昨年12月には、福島市における市中感染拡大の影響を受け、当院で新型コロナウイルスの院内感染が発生してしまいました。ただちに福島市保健所、福島医大感染制御支援チーム、DMATの方々が支援に駆けつけてくださり、そのご助言のもと外来診療、救急車の受け入れ、新入院を休止し、接触職員を2週間自宅待機といたしました。その後経時的にPCR検査を行ったところ、直後にPCR陰性であった職員3名が7～11日後に陽性化しましたので、今回の処置が感染拡大予防に有効であったことを実感いたしました。

院内感染収束に向けての初期の工程は、大規模災害時の対応に類似していること、自院だけで問題を解決しようとせず、ご支援いただいている方々の力を借り、当院の主要メンバーも新たな視点で問題解決を進めることが大事であるということ等、私たちは多くのことを学びました。そして職員全員が気持ちを一つにして立ち向かった結果、感染拡大を最小限にしてほぼ予定通り通常業務を再開できたのです。

当院が通常診療と2次救急輪番を休止している間、福島医大附属病院、大原綜合病院など市内の多くの医療機関に当院の役割を代わっていただき、多大なるご負担をおかけしましたが、快く対応していただきましたことに心から感謝いたします。

さて新年度からは、小児科と泌尿器科に福島医大から医師を増員していただく予定で、2人体制となり診療がさらに充実したものになると期待しております。2024年からは「医師の働き方改革」が法律で規定されるようになります。基準を守り、診療機能を低下させないためには医師の増員が必須となります。永遠の課題ではありますが、医師確保に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の収束にはまだまだ時間がかかりそうですし、それがいつになるのか全くわかりません。しかし新築移転から3年目を迎える今、先を明るく見て、公的医療機関として県北医療圏の地域医療、救急医療に貢献することはもちろんのこと、第2種感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症患者に対応し、人道、博愛の道を進んでいきたいと考えております。

それが福島日赤の使命です。

皆様、本年もよろしく願いいたします。

令和3年1月1日

福島赤十字病院長 渡部 洋一

原子力災害時拠点施設について

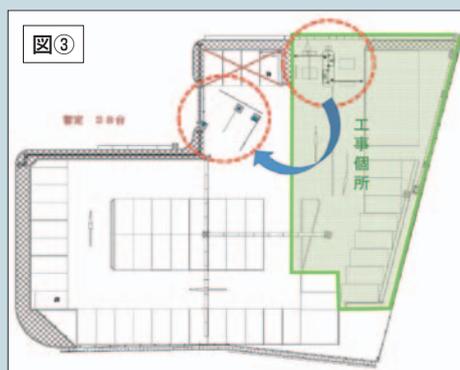
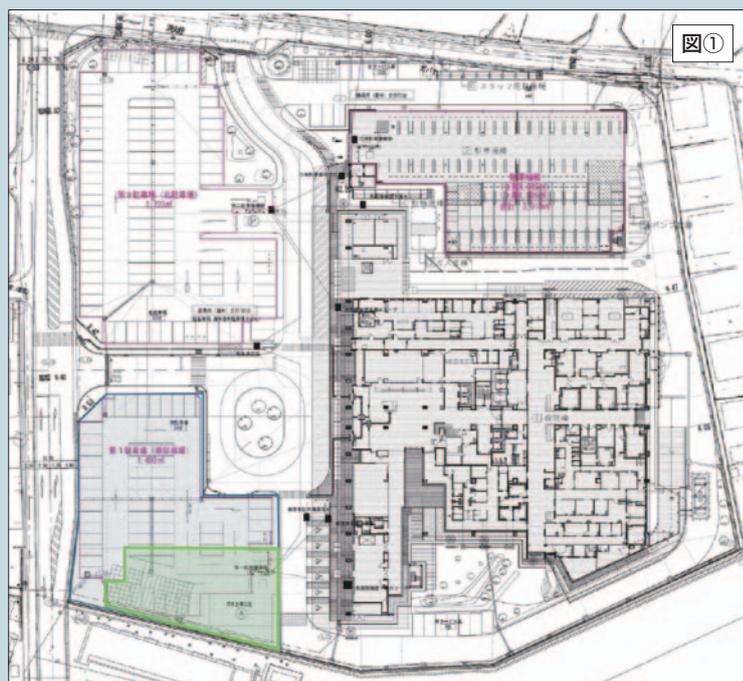
企画課

当院は平成29年4月1日付で福島県より福島県原子力災害拠点病院の指定を受けました。

原子力災害拠点病院は、原子力災害時に被災地域の原子力災害医療の中心となって機能し、放射性物質による汚染や被ばくを伴う傷病者等を受け入れ、適切な診療等を行うこと、また、災害医療の知識、技能のほか、被ばく医療に係る専門的知見を有する医師、看護師、診療放射線技師等から構成する「原子力災害派遣医療チーム」を編成することが施設要件となっております。

これらの医療を提供するためには、医療従事者のみならず、施設内に所属する全ての職員や施設管理者等の意思決定を行う者においても一定程度の原子力災害医療に関する知識が必要なことから、平時から教育研修、訓練等を通じて理解を深めることが望まれており、このたび原子力災害対策事業費補助金交付要綱に基づき、原子力災害拠点病院としての活動に必要な施設機能の整備を図ることとしました。

現在、病院第一駐車場の一角（図①）に仮囲いの部分に3階建ての建物（図②）を建設中です。工事期間中は駐車場の出入口ゲートの変更（図③）、駐車台数の減少とご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力賜りますようお願いいたします。完成後は、放射線環境下での救護活動に安全かつ安心して従事できるよう、放射線や原子力災害医療体制等にかかる基本的知識及び放射線防護資機材の使用方法を習得するための研修に注力していきます。



行幸啓(オンライン)について

令和2年11月18日、天皇皇后両陛下が初めてインターネットで赤坂御所と当院をはじめとした全国の4つの赤十字病院とをつないで、初めてオンラインでのご視察(行幸啓)をされました。当院をはじめ、日赤医療センター(東京)、北見赤十字病院(北海道)、沖縄赤十字病院(沖縄)が全国の病院を代表して両陛下への活動報告と励ましのお言葉をいただきました。日赤医療センターは多数の陽性者の対応状況について、北見赤十字病院では北海道内での障害者施設での感染対応状況について、沖縄赤十字病院は院内感染が起こった対応について報告しました。当院においては、今年2月にダイヤモンド・プリンセス号内でのDMAT班を2班、救護班を1班派遣し、渡部院長自ら現地で医療救護活動を行いましたので、その報告をしました。

渡部院長と國分師長より、船内の状況と船内での感染のリスクから患者に寄り添った活動ができず苦勞したこと、活動を終えて職場や家族への感染を心配して隔離されたスタッフがいたことなどを説明しました。両陛下は時折深くうなずいたり、メモを取ったりしながら真剣にお聞きになっていました。

その後、両陛下より「福島では、東日本大震災の原発事故で本当に苦勞されていると思います。心からお見舞い申し上げます。皆様の中にも、東日本大震災の救護にあられたかたもいらっしゃるのではないのでしょうか。」などの質問がありました。渡邊あゆみ師長より原発事故の際に南相馬市で救護活動を行っていたこと、その後も様々な救護活動を行って今回の船内での感染という特殊な状況での医療救護活動にも今までの経験を役立てることができたことをお伝えしました。

皇后陛下からは「現在の病院の状況はいかがですか?」とのご質問もありました。渡部院長より、「感染患者が増えており病床もひっ迫しているが、職員全員で感染対策を徹底して対応しております」とお伝えしました。

両陛下より「皆様大変な毎日だと思いますが、くれぐれも体に気を付けて医療活動を続けてください。」と励ましのお言葉をいただきました。



オンラインで懇談される天皇皇后両陛下



オンライン行幸啓に対応する当院職員

病院出来事カレンダー



7月11日(土)

日本赤十字社福島県支部災害救護訓練(机上演習)



10月30日(金)

多数傷病者対応訓練(富岡町)



11月6日(金)

日本赤十字社第1ブロック支部合同

新任医師紹介

耳鼻咽喉科



みうら ともひろ
三浦 智広

出身大学
福島県立医科大学
平成9年卒

専門とするもの

耳鼻咽喉科一般
(特に鼻科学)

認定医・専門医

耳鼻咽喉科専門医
耳鼻咽喉科指導医
補聴器相談医

所属学会

日本耳鼻咽喉科学会
日本鼻科学会
日本頭頸部癌学会

メッセージ

丁寧な診療を心がけるようにしています。鼻副鼻腔手術の他、耳鼻科の救急にも対応していきたいと思えます。よろしくお願いたします。

脳神経外科



やまの い ゆう
山ノ井 優

出身大学
福島県立医科大学
平成27年卒

専門とするもの

脳神経外科

所属学会

日本脳神経外科学会
日本脳卒中学会
日本脳腫瘍学会
日本脳血管内治療学会

メッセージ

県北の脳神経疾患の診療に貢献してまいります。

小児科



しみず ひろみ
清水 裕美

出身大学
杏林大学
平成16年卒

専門とするもの

小児科一般

認定医・専門医

日本小児科学会
専門医

所属学会

日本小児科学会
日本周産期・新生児医学会
日本新生児成育医学会
日本産婦人科・新生児血液学会

メッセージ

お子様やご家族様に寄り添った診療を心掛けております。お子様の疾病等でご不安やご心配がございましたら、お気軽にご相談下さい。

精神科



はがね ゆうや
羽金 裕也

出身大学
福島県立医科大学
平成30年卒

専門とするもの

精神科

所属学会

日本精神神経学会
日本臨床神経生理学会

メッセージ

2ヶ月という短い間ですが、誠心誠意努めさせていただきます。

泌尿器科



ほんだるりこ
本田瑠璃子

出身大学
愛知医科大学
平成24年卒

専門とするもの

泌尿器科一般

所属学会

日本泌尿器科学会
日本小児泌尿器科学会
日本泌尿器内視鏡学会
日本排尿機能学会
日本泌尿器腫瘍学会

メッセージ

地域の皆様のお役に立てるよう努めて参ります。よろしくお願いたします。



災害救護訓練(オンライン)



11月18日(水)

行幸啓(オンライン)



11月19日(木)

日赤福島ボランティア会と青少年赤十字加盟校の学校法人山崎学園 福島県磐城第一高等学校から手作りリガウンの寄贈

栄養課だより

嚥下調整食について③

当院の嚥下調整食は「日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2013」に準じて4段階に設定しています。(以下、略称として『学会分類2013』と表記)今回は当院で提供している『嚥下調整食2-1』についてご紹介いたします。



学会分類2013(食事)早見表(コード2部分のみ抜粋)

コード【1-8項】	名称	形態	目的・特色	主食の例	必要な咀嚼能力【1-10項】	他の分類との対応【1-7項】
2 1	嚥下調整食2-1	ピューレ・ペースト・ミキサー食など、均質でなめらかで、べたつかず、まとまりやすいもの スプーンですくって食べることが可能なもの	口腔内の簡単な操作で食塊状となるもの(咽頭では残留、誤嚥をしにくいように配慮したもの)	粒がなく、付着性の低いペースト状のおもゆや粥	(下顎と舌の運動による食塊形成能力および食塊保持能力)	嚥下食ピラミッドL3 えん下困難者用食品許可基準Ⅱ・Ⅲ UDF区分4
2 2	嚥下調整食2-2	ピューレ・ペースト・ミキサー食などで、べたつかず、まとまりやすいもので不均質なものを含む※ スプーンですくって食べることが可能なもの	口腔内の簡単な操作で食塊状となるもの(咽頭では残留、誤嚥をしにくいように配慮したもの)	やや不均質(粒がある)でもやわらかく、離水もなく付着性も低い粥類	(下顎と舌の運動による食塊形成能力および食塊保持能力)	嚥下食ピラミッドL3 えん下困難者用食品許可基準Ⅱ・Ⅲ UDF区分4

*『嚥下調整食分類2013』を必ずご参照ください → http://www.jsdr.or.jp/doc/doc_manual1.html 【上記QRコードから閲覧できます。】

対象者：咀嚼能力としては不要でも、口に入れたものを広げずに送り込むような能力をある程度有し、若干の付着性の幅に対応可能な嚥下機能を有する人

【嚥下調整食2-1の調整方法】

- 主食：**全粥と酵素を含んだトロミ剤(市販)をざらつき感がなくなるまでミキサーにかけて作成します。
(酵素を使用せずミキサーにかけると糊状になってしまうため、嚥下調整食としては適切ではありません)
- おかず：**食材ごとに加水量、トロミ剤使用量等設定。ミキサーにかけてなめらかにし、凝集性を付加。
※不均質なもの…食材の繊維によるざらつき感も含む⇒肉・魚のミキサー



【嚥下調整食2-1】

参考文献：日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2013

患者さまの声

ご意見・ご指摘ありがとうございます。

たくさんのご意見・ご指摘の投稿ありがとうございました。紙面の都合上すべてのご意見と回答の掲載はできかねますが、投稿されたご意見は、すべて顧客サービス・広報委員会で記録・保管し、関係各署とともに検討・対策をしております。

ご意見：トイレのペーパータオルが取りにくい。背が低い人は届かない。

回答：ご不便をおかけし、申し訳ございませんでした。誰でも取りやすい位置に増設しました。

ご意見：便座の清潔のために便座クリーナーが欲しい。

回答：便座クリーナーを設置いたしましたのでご利用いただければと思います。

ご意見：患者が高齢で寝たきりから認知症にならないか、面会を禁止されていることがとても不安です。

回答：免疫力が低下し、感染の危険から患者様とのご面会を制限しております。ただ、状況に応じては、個々に対応いたしますのでご相談下さい。ご理解とご協力をお願いします。

ご意見：予約時間なのに2時間も待たされる。予約の意味がない。

回答：待時間短縮は当院の検討課題です。少しでも患者様のご負担が軽減されるよう、予約枠見直し等に努めます。なお、ご不明な点等は、お近くのスタッフまでお気軽にお声かけ下さい。

ご意見：隣の方が、イヤホン無しで動画を視聴しており、静かに休むことができなかった。

回答：多床室にてイヤホンを使用していない場面を見かけましたら、スタッフから積極的にお声かけ致します。

ご意見：以前のように食堂があったらもっと快適になるのではないかと思います。

回答：建築費が高騰し、患者様の診療機能(外来、病棟、検査等)を優先したため、食堂を設置できませんでした。大変申し訳ありませんが、ご理解をお願いします。

ご意見：テレビカード料金が高すぎる。

回答：新築に際し、テレビ等を全て新しくし、気持ちよくお使いいただくため随時清掃なども行っております。ご理解をお願いします。

福島赤十字病院 登録医師・医療機関のご紹介

*医療連携にご協力いただいている医療機関を順次ご紹介いたします。

さとう整形外科内科クリニック

■院長 佐藤 伸一 先生 ■副院長 佐藤 智子 先生

～佐藤先生からのメッセージ～

当院は2015年7月に阿武隈急行保原駅前に開院致しました。地域のみな様と一緒に健康や人生の不安に向き合い乗り越えて、共に齢を重ねていければと考えております。

コロナに負けずに、スタッフ全員で笑顔いっぱいのクリニックを目指して頑張っておりますので、今後ともみな様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



《診療科》

整形外科・内科

《住所》

〒960-0671

伊達市保原町字東野崎70-1

《電話》

024-572-7606

《休診日》

水・土曜午後 日祝祭日

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:30	○	○	○	○	○	○	×
午後	14:30~18:30	○	○	×	○	○	×	×

※内科外来は月・水・金・第2・4土曜の午前中のみ

さくま内科クリニック

■院長 佐久間文隆 先生 ■副院長 佐久間貴美子 先生

～佐久間先生からのメッセージ～

数年前に体調を崩して以来、訪問診療の新規の受け入れ中止、診療時間の縮小を余儀なくされ、地域の皆様には多大なご迷惑をおかけしておりますが、福島赤十字病院での17年間に及ぶ勤務経験を活かしながら専門である呼吸器疾患を中心に地域医療の充実に微力ながら努めてゆきたいと思っております。



《診療科》

内科・呼吸器内科・消化器内科

《住所》

〒960-8115

福島市山下町4-11

《電話》

024-525-2700

《休診日》

木曜 火・土曜午後

日祝祭日

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	○	○	×	○	○	×
午後	14:30~18:00	○	×	○	×	○	×	×

各科の 外来診療予定表

令和3年2月1日現在

原則全診療科予約制と
なっております

当日の診療ご希望の場合もご連絡下さい。連絡なくご来院された場合、診療が出来ないことがあることをご了承下さい。

診療科		月	火	水	木	金
リウマチ・膠原病内科	午前	宮田 昌之	天目 純平	宮田 昌之	宮田 昌之	宮田 昌之
消化器内科	午前	黒田 聖仁 浅間 宏之 佐久間千陽 (新患) 木村 友哉	黒田 聖仁 木村 友哉 菅野有紀子 (新患) 浅間 宏之	木村 友哉 児玉 健太 佐久間千陽	木村 友哉 浅間 宏之 菅野有紀子	黒田 聖仁 児玉 健太 菅野有紀子 (新患) 佐久間千陽
内科	午前	梅田 隆志 (医大 呼内) (新患) 交代で診療	寺島久美子 (新患) 交代で診療	富田ひかる (医大 呼内) (新患) 天目 純平	寺島久美子 (新患) 総合内科 (医大)	(新患) 交代で診療
	午後			田中 健一 (医大 腎臓内科)		
糖尿病・代謝内科	午前	佐藤 義憲	佐藤 義憲	佐藤 義憲	佐藤 義憲	佐藤 義憲 山口 瑞希 (医大) (内分泌・糖)
循環器内科	午前	大和田尊之 阪本 貴之 中里 和彦 (医大) (新患) 坂本 和哉	渡部 研一 阪本 貴之 (新患) 大和田尊之	大和田尊之 渡部 研一 (新患) 阪本 貴之	大和田尊之 阪本 貴之 池田 彩乃 (新患) 渡部 研一	渡部 研一 坂本 和哉 (新患) 池田 彩乃
精神科	午前	羽金 裕也 (新患) 山本慎之助	山本慎之助 (新患) 羽金 裕也	藤森 春生 (新患) 羽金 裕也	藤森 春生 (新患) 山本慎之助	羽金 裕也 (新患) 藤森 春生
	午後		藤森 春生	山本慎之助		
小児科	午前	清水 裕美 (一般)	清水 裕美 (一般)	清水 裕美 (一般)	弓削田英知 (一般) 医大 (神経) 第1・3週 (心臓) 第2・4週 (一般) 第5週	清水 裕美 (一般)
	午後	清水 裕美 (一般)	清水 裕美 (健診) 加藤 朝子 (医大/神経) 第4週	予防接種	弓削田英知 (腎臓) 医大 (神経) 第1・3週	清水 裕美 (予約)
外科	午前	今野 修	遠藤 豪一 大須賀文彦	遠藤 豪一 青砥 慶太 村上 祐子 (医大 乳腺)	今野 修 見城 明 (医大)	大須賀文彦 青砥 慶太
	午後		大須賀文彦	甲状腺 (医大) 第4週休診	ストーマ・スキンケア外来	角田 圭一 ストーマ・スキンケア外来
呼吸器外科	午前	菅野 隆三	菅野 隆三 井上 卓哉	菅野 隆三	菅野 隆三	菅野 隆三 井上 卓哉
心臓血管外科	午前	籠島 彰人	籠島 彰人		医大 籠島 彰人 (末梢血管外来)	籠島 彰人
整形外科	午前	村上 和也 菅原 崇寛 佐藤 亮平 (医大) 第1・3・5週	菅原 崇寛 佐藤 法義	村上 和也 佐々木信幸 (医大)	村上 和也 佐藤 法義	村上 和也 佐藤 法義
	午後					小林 洋 (医大) 第2・4週
脳神経外科	午前	渡部 洋一 市川 剛	渡部 洋一 藤井 正純 (医大)	鈴木 恭一 市川 剛	渡部 洋一 鈴木 恭一	鈴木 恭一 山ノ井 優
脳神経内科	午前	守谷 新	中村耕一郎	中村耕一郎	中村耕一郎 安田 恵 (医大)	守谷 新
	午後			守谷 新 (もの忘れ外来)		
皮膚科	午前	元木 良和	元木 良和	元木 良和	元木 良和	元木 良和
形成外科	午前	浅井 笑子				
	午後	浅井 笑子	浅井 笑子	浅井 笑子	浅井 笑子	浅井 笑子
泌尿器科	午前	(医大) 本田瑠璃子	星 誠二 本田瑠璃子	丹治 進 (外部医) 第3水曜日休診	星 誠二	星 誠二 本田瑠璃子
産婦人科	午前	矢澤 浩之 大原 美希	矢澤 浩之 岡部 慈子	矢澤 浩之 大原 美希	矢澤 浩之 岡部 慈子	矢澤 浩之 大原 美希
	午後	大原 美希		幡 進 (外部医) 第1・3週		佐藤 麻里 (外部医) 第2・4週
眼科	午前	山田 文子	山田 文子	山田 文子	山田 文子	山田 文子
	午後		山田 文子		山田 文子	山田 文子
耳鼻咽喉科	午前	多田 靖宏・三浦 智広 (鼻副鼻腔外来) 大河内幸男	大河内幸男	多田 靖宏 (嚥下・音声外来) 三浦 智広	三浦 智広 大河内幸男	多田 靖宏 谷 亜希子 (外部医) 第2・4週
	午後			多田 靖宏 (嚥下・音声外来) 松井 隆道 (外部医) 第2・4・5週		
麻酔科	午前	安達 守	出羽 明子	出羽 明子	安達 守	出羽 明子 (緩和ケア外来)

本予定表につきましては、都合により変更になる場合がございます。

最新版については、当院ホームページをご確認いただくか、お電話にて確認いただきますようお願い申し上げます。

発行
編集

福島市八島町七番七号
〒960-8530

福島赤十字病院
☎(024)534-6101

印刷
陽光社印刷